

学術知共創プログラム

- ◆課題：「新たな人類社会を形成する価値の創造」
- ◆研究テーマ：「ポストヒューマン社会のための想像学」

研究期間：R6.7～R12.3
委託費総額：88,660千円

＜研究代表者＞

大澤博隆：慶應義塾大学理工学部／准教授



＜専門分野＞
ヒューマンエージェントインタラクション、
サイエンスフィクション、物語応用
＜Webページ＞
<https://hailab.net/project/keiosf>

＜研究目的・概要＞

技術と社会の変化が人間の創作や想像力の変容に寄与。技術共生社会に対応するための想像力の理論化と学問としての確立が急務



ポストヒューマニティ時代における人間の想像力の理論化と「想像学」の確立

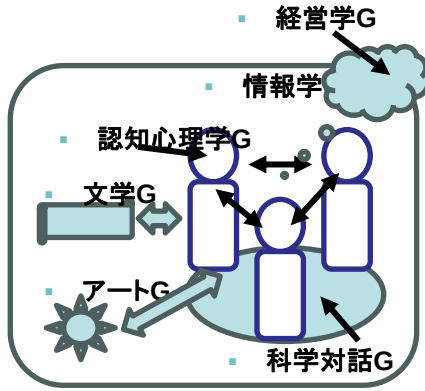
文学、教育心理学、情報学、科学コミュニケーション、経営学、アートの各分野から再検討。文献レビュー、ケーススタディ、実験的研究、デザイン思考やSFプロトタイピング・ワークショップの実施。



AIと人間の協働による創作活動を通じた社会の創造力向上。想像力の育成と新しい物語形式の普及による文化的豊かさの向上。

＜研究計画の特徴＞

技術進展に伴う社会的・文化的変化を踏まえ、人類の想像力の利点と欠点を六学問グループが連携し把握。想像力の機能の変容を理解し、未来社会構築に向けた想像学を確立



＜目標とする研究成果＞

(1)新しい想像力理論の確立

AIと人間の協働による創作活動を通じて、新しい物語形式や創作手法を理論化

(2)教育プログラムの開発と実施

子どもたちの想像力を育む教育プログラムを開発し、実際の教育現場で実施・検証。未来社会のシナリオアート作品や公開フォーラム発信し、社会対話を促進

＜将来展望＞

学術誌、国際会議発表、地域社会との協働、国際ネットワーク